## 大規模水害対策ワークショップ検討の流れ [資料-4]

	検討の場	情報共有(図化)	意見出し(WS)
	第1回 WS	<ul><li>● 被害想定(堤防決壊を想定した最大浸水深図等)</li><li>● 被害の内容(具体的に起こることを図化)</li></ul>	● いろいろな立場から被害の内容に 応じて <mark>困ること</mark> を抽出
	第2回 WS	● 上記のWS検討を踏まえ、一般的な大規模災害が発生した際に行われる活動の内容(具体的に活動することを図化)	<ul> <li>● 上記の困ることの掘り下げ(左記の活動によれば、困ることに対応できるのか)</li> <li>● 地域の生き残りのアイデアを抽出</li> </ul>
V	第3回 WS	<ul> <li>● 上記のWS検討を踏まえ、土器川の大規模水害に対する地域機能継続案(適応策案)を作成・提示</li> <li>● 適応策の効果分析結果(対策前と対策後の比較図)</li> </ul>	<ul> <li>● 上記のアイデアの掘り下げ(左記の適応策によれば、"水害に強いまち"に成り得るのか)</li> <li>・ 事前対策(予防活動)</li> <li>・ 応急対策(緊急活動)</li> <li>・ 復旧・復興対策</li> </ul>
次回10/6実施			

『土器川における大規模水災害に適応した対策検討会とりまとめ書(案)』 香川地域継続検討協議会のDCPへ反映